

再生医療国際拠点に求められる機能、特徴

センターに必要な機能

病院機能

臨床研究から治験への移行と実用化を促進

病院内に再生医療に特化した設備を持ち、最先端の再生医療を患者に提供



産学共創研究室

レギュラトリーサイエンス研究室

産学共創で産業化に向けた研究を推進
製品化に向けた審査等の基準の確立



細胞バンク

細胞の安定した供給と流通を目指す
再生医療データと連携



再生医療データの集積、管理、解析

学会事務局の設置



センターの特徴

世界に開かれた国際拠点

空港へのアクセスがスムーズ
国内、海外から人の集まる場所
研究成果の海外展開など



複数の研究拠点との連携

京都大学iPS細胞研究所や理研CDB等の研究拠点とのネットワーク



人材育成、教育

再生医療の研究・教育・育成の実践の中心となり、再生医療技術の維持、向上に貢献
実地訓練の為の細胞加工施設を有する
再生医療トレーニングセンター



社学連携

市民への情報公開
学生への啓発



再生医療国際センター

再生医療を創像し、
世界に向けて再生医療提供の中心となる



【最大の課題】
病院設立・運営にあたって
巨額の費用、人材、設備、集客等が必要。
周辺病院等との兼ね合い。



設立後の運営を見据えた
機能・運用を検討。

再生医療国際拠点「病院機能」のコンセプト

最先端医療の実践

再生医療の窓口

データの集積、
管理、解析

再生医療国際センター

具体的
想定機能

- 最先端の再生医療や先端的医療、先制医療の実践。
- 全世界的な「再生医療の窓口」としての診療機能を持つ。
- 複数の研究拠点、病院等施設と連携して情報を集積、患者を最適な病院に振り分けるハブ機能を持つ。
- 検査データの集積、管理
⇒センターでの研究・各施設連携の両者に活用。
- 海外患者受け入れのための医療通訳機能。
- 入院設備は、50～100床程度 臨床研究専用病床。

本機能をもつ施設となれば、

- 世界からも人が集まりやすいアクセスの良さ
- 連携がとりやすいため、再生医療前臨床・臨床研究経験の豊富な病院・大学・施設や、関連企業が近くにあることが条件となり、中之島の立地が有力な候補地として挙げられる。



検討イメージ



市立科学館

国立国際美術館

市有地
美術館建設予定地

市有地
中之島 再生医療国際センター(仮称)候補地

大阪大学
中之島センター

社学共創・産学共創拠点
アート拠点

産学連携、産学共創
製品化に向けた審査基準整備

中核機能
データの集積、
管理、解析

人材育成・教育

再生医療
臨床研究

細胞バンク(地下)

大林組・京阪電鉄所有地

市有地